

第15回 運営推進会議 議事録

令和6年8月26日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」			
開催日時	令和6年8月26日(月)			
開催場所	デイサービスセンターよつ葉			
参加者	利用者	1名	知見を有する者	1名
	利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	1名	事業所職員	2名
議題	1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動			

会議録

1.運営状況

○介護度の内訳 令和6年7月31日現在 合計16名

要支援1:0名／要支援2:0名

要介護1:2名／要介護2:5名／要介護3:7名／要介護4:1名／要介護5:1名

2.事故・ヒヤリハット報告

・半年間で事故は6件、ヒヤリハットは1件

事故報告 R6年 4月 1日 14時 30分頃

【内容】フルーツ公園へお花見ドライブに出かけ、駐車場へ駐車する際に石の柵に接触してしまった。3名の利用者様とスタッフが乗車していたが、身体の異常はみられなかった。

【今後の対応】駐車する際はもう一人のスタッフが注意しながら運転者に指示する。

事故報告 R6年 4月 23日 10時 40分頃

【内容】歩行訓練中、杖歩行の利用者様の左腕を両手で支えていたが、ストップウォッチを取ろうとして片手で支えた際に利用者様のバランスが崩れて尻もちつくように転倒させてしまった。転倒時に左腕を捻れてしまい痛みが生じていたが、打撲した腰やおしりは異常なく動作にも影響なかった。

【今後の対応】大丈夫だろうと過信せず、常に危機を考えながら対応していく。必要に応じて両手引き歩行で対応していく。

事故報告 R6年 6月 22日 15時 35分頃

【内容】おやつにところてんを提供したところ、ムセ込みが出現し呼吸困難状態となってしまったが、背中等をさすりながら様子みていると次第に改善された。ところてんの酢が原因だったかと問いかけると、「急いで食べた…」と返答あり。ゆっくり召し上がるよう声掛けを行った。

【今後の対応】酔はなるべく控えるようにする事と、慌てずゆっくり召し上がるように常に声掛けをしてい

事故報告 R6年 7月 12日 10時 30分頃

【内容】入浴時湯船へ入る介助を二人で対応した際に、踏み台の隙間に左足の親指を擦ってしまい内出血と傷を負わせてしまった。傷が悪化しないようにガーゼとフィルムにて保護した。痛みはあるものの歩行状態は変化なかったが、暫く横になって頂き安静とした。

【今後の対応】踏み台での介助を中止し、入浴方法を再検討する。恐怖感が出た場合は、気持ちを落ち着かせて対応する。踏み台の隙間を埋めるようにバスタオル等で覆う。

事故報告 R6年 7月 22日 10時 45分頃

【内容】入浴中に左太もも10cm程度縦方向の赤い内出血が見つかり、本人へ問いかけると「車いすになった」と証言される。ヒリヒリ感の訴えあり、メンターム溼布にて様子みた。入浴前のトイレ介助中、車いす乗移時に右手の痛みは一瞬訴えていたが負傷等の異常なく、左足の痛みや車いすとの接触はなかった。手の爪が伸びていた為、自力でズボンを上げ下げする時に出来た可能性が高い。はっきりとした原因は不明であるが、普段に比べると動作の変化(脱水によるADL低下)や狭い空間であるトイレ内での車いす乗移を行った事はリスクがあった。

【今後の対応】狭い空間での車いす乗移はリスクが高い為、フロアへ移動する等の介入しやすい空間を確保していく。爪による負傷が生じないよう、定期的な爪ケアを行う。

事故報告 R6年 7月 31日 8時 50分頃

【内容】ドライバーより「パンクしたので、すみよしで…すみよしの車で対応します」と一報入る。その旨を社長へ報告する。その後、デイサービス「すみよし」の送迎車で無事に到着された。利用者様は普段通りのご様子で、一日利用中も問題なく過ごされ、夕方、ご家族とケアマネへ状況報告し謝罪した。

【今後の対応】本社の敷地内でブロックとタイヤが接触した衝撃でパンクに至ってしまった為、ハンドル作^{も品}や内輪差に十分注意していく。

ヒヤリハット報告

○両手引き歩行訓練中、ドライヤー乾燥後席に戻ろうとした利用者様が近くを歩いている事に気が付かず接触しそうになった。

事故やヒヤリハットが発生した場合は、その都度情報共有し、対策を提案して実行できるように連携している。似たような事例に関しては、繰り返しのないよう勉強会や研修等を取り入れてスキルアップ向上に繋げていくよう努める。病状や異常がある場合にも、ご家族様・ケアマネ・事業所との情報交換や相談等を積極的に行う事で早期発見早期対応に努め、事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等の話し合いを行い、再発防止に努めていく。

3.活動報告

○来年3月の介護フェア作品作り(来年の干支をモチーフにした壁飾り)

○口腔機能向上サービスの実施(歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師

による指導) 対象者:8名(内入院中2名)

総合的に噛む力と舌圧低下がみられている為、引き続き奥歯の噛みしめ運動や舌運動の強化

○脱水や熱中症対策として経口補水液(液状タイプ・ゼリータイプ)の常備、空調管理(エアドッグ・エアコン・扇風機)

○防災訓練の実施 (R6.3月:地震による火災を想定した訓練、R6.9月は大雨で水害を想定した訓練を予定)

○「子供110番の家」の指定 近隣住民や地域の子どもたち、父兄に挨拶運動や気軽に声掛け頂ける雰囲気作り(例えば…通りすがりの学生が手の洗淨やトイレを借りに来た)

4.感染症対策

○お迎え時の体温測定(37.5℃以上の場合は来所を控えて頂く場合がある)

○ご利用者様は朝の検温が基本で、疑わしい症状がある場合は再検や必要に応じて抗原検査を実施、職員の場合は、症状がある場合や陽性者と濃厚接触があった場合のみ検温と抗原検査を実施し、陽性の場合は出勤停止

○送迎車にマスク・体温計を常備

○来所時の手洗い・うがい・消毒の徹底

○サービス時間中の職員・ご利用者様全員の飲食以外のマスク着用の徹底

○入浴介助中の職員はマスク着用の徹底

○窓の開閉調整・空気清浄機・エアドッグ・扇風機での常時換気

○布団や枕の定期的な洗濯や消毒、枕カバーは毎回洗濯

○利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り・マスク入れ他)や掃除

○玄関・脱衣所のカーテンは、定期的な洗濯・消毒

○シェーバーの刃やヘアブラシ、歯磨きセットは個別

○風邪症状や高熱者に対してバイタルチェック・必要に応じて抗原検査も実施し、家族やケアマネ・多職種等との連携を図る

○感染者が出た場合は、他者との距離感の確保や隔離、介入者は防護服装着で対応

5.質疑応答

①避難訓練で、スタッフ間の安否 これまでの防災訓練では、現場のみの訓練しか行っていませんでした。確認はどうされていますか? メール等での安否確認をこれからやっていきます。

また、非常食の試食なんかはどう 非常食は乾麺やペットボトル水の備蓄がありますが、非常食の試食もされていますか? 実施した事はなかった為、参考にさせていただきます。

6.運営委員からの評価

(利用者)ありがとう!良くしてもらっている。これからもよろしく頼む。

(利用者家族)以前はもうけ所のデイを使ってましたが、よつ葉だけの利用になってから状態が安定してきたので、やっぱり2ヶ所の利用は良くなかったのかなあと反省しています。はんに良くして貰って有難いです。

(地域の代表者)ヒヤリハットやアクシデントに対してのスタッフさん達の対応が凄いなとも思っています。スタッフさん達が心を一つにして、これからも頑張ってもらいたいですね。

(知見を有する者)よつ葉さんのデイでの活動には大変満足しています。ご利用者様も楽しく通われています。お化粧や外出レク、レストランでの昼食など様々なイベントを企画いただき、普段は家族が連れていくことができなかったり、体験できないことも楽しめていると感じています。

ヒヤリハットに関しては、外出の機会が多いほど、事故等への危険が伴うかと思えます。今後も職員様、ご利用者様ともに安全に出かけられますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

また、感染対策も大変な中ですが、ご利用者様がデイサービスの利用を続けられますよう、どうぞ引き続きよろしくお願い致します。

(地域包括支援センター)防災訓練について、職員間の安否確認も大事ですので、メール等を活用してやっていくと良いと思います。また、非常食は色んな物がありますが、実際に食することで実感できるとおもいます。

7.今後の活動

- 地域の子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイサービスにする
- 『こども110番の家』として、小・中学校の生徒やそのご家族、学校関係者や地域の方との積極的な挨拶運動や声掛けを引き続き実施
- 地域活動参加を実施(年に数回の『生き生きサロン』や防災訓練等)

次回、運営推進会議は、令和7年2月の予定